

平成 29 年 12 月 20 日

各 位

公益財団法人 小野医学研究財団
平成 29 年度 早石修記念賞受賞者および研究助成並びに研究奨励助成対象者決定の
お知らせ

公益財団法人 小野医学研究財団（理事長：福島 大吉）は、このたび開催されました理事会
において、早石修記念賞受賞者および研究助成並びに研究奨励助成対象者を決定しましたので
お知らせします。

◆ 「平成 29 年度（第 1 回）早石修記念賞」

本賞は、当財団設立以来、会長としてあらゆる面で財団の活動をリードしていただいた
故・早石修先生の功績を記念し、今年度より創設しました。

受賞者には、褒賞として正賞（楯）、副賞 500 万円を贈呈します。

◆ 「平成 29 年度（第 30 回）研究助成および（第 26 回）研究奨励助成」

第 30 回研究助成対象者 12 名には研究助成金として 200 万円、第 26 回研究奨励助成対象
者（満 40 歳以下）16 名には 100 万円を贈呈します。

〒541-8526

大阪府中央区道修町 2 丁目 1 番 5 号

公益財団法人 小野医学研究財団

理事長 福島 大吉

TEL:06-6232-1960

FAX:06-6232-2527

◆ 「平成 29 年度（第 1 回）早石修記念賞」

《受賞者》

竹縄 忠臣博士



《所属機関および役職》

神戸大学大学院医学研究科 分子細胞生物学分野 客員教授

《略歴》

京都大学薬学部卒業	昭和 42 年 3 月 (1967)
東京大学医科学研究所 細胞化学研究生	昭和 45 年 4 月 (1970)
薬学博士 (京都大学)	昭和 49 年 3 月 (1974)
筑波大学基礎医学系研究科 薬理講師	昭和 49 年 4 月 (1974)
Research Associate, Gerontology Res Center, NIA, NIH, USA	昭和 51 年 9 月 (1976)
筑波大学基礎医学系研究科 薬理講師 復職	昭和 53 年 10 月 (1978)
東京大学医学部 生化学助教授	昭和 57 年 4 月 (1982)
東京都老人総合研究所 薬理室長	昭和 60 年 4 月 (1985)
東京都老人総合研究所 生体情報部長	昭和 62 年 4 月 (1987)
東京大学医科学研究所 腫瘍分子医学教授	平成 4 年 4 月 (1992)
東京大学定年退職	平成 19 年 3 月 (2007)
東京大学名誉教授	平成 19 年 4 月 (2007)
	(現在に至る)
神戸大学大学院医学研究科 脂質生化学 特命教授	平成 19 年 4 月 (2007)
神戸大学大学院医学研究科 質量分析総合センター 特命教授	平成 24 年 4 月 (2012)
神戸大学大学院医学研究科 バイオシグナル研究センター 客員教授	平成 26 年 8 月 (2014)
神戸大学大学院医学研究科 客員教授	平成 28 年 10 月 (2016)
	(現在に至る)

《受賞対象となった研究業績》

「イノシトールリン脂質情報伝達の概念の確立」

竹縄博士は、ホスホイノシタイドが二次メッセンジャー産生で重要な役割を果たすのみならず、細胞骨格、細胞用いた脂質の可視化や、ホスホリパーゼCの機能解析に基づく細胞内シグナルの伝達機序の明確化（情報の担い手である Ash/Grb2 及び N-WASP 等の発見）に加え、Bar に代表される生体膜の微細構造を制御する蛋白の発見は、それまであまり重要視されていなかったイノシトールリン脂質が、生命現象の根幹に位置することを証明したといっても過言ではない。竹縄博士の業績は、細胞生物学のみならず、生命科学全般における重要な基本概念のひとつを構築しただけでなく、先進医療に欠かせない創薬研究の新規な方向性として、イノシトールリン脂質シグナルの制御という新たな切り口を提供するに至った。これらの業績は「脂質研究に於ける独創的な研究による新しい分野の確立」を対象とする早石修記念賞の受賞者としてふさわしいと考えられる。

◆ 「平成 29 年度（第 30 回）研究助成および（第 26 回）研究奨励助成」

平成 29 年度（第 30 回）研究助成対象者 12 名

助成額:1 件につき 200 万円

氏名 (五十音順) (敬称略)	役職	施設名 科名	課題名
えんどう ゆうすけ 遠藤 裕介	特任講師	千葉大学大学院医学研究院 免疫発生学教室	脂質代謝による病原性 Th2 細胞の制御と炎症性アレルギー疾患の新たな治療戦略の創出
おおいし ゆみこ 大石 由美子	准教授	東京医科歯科大学難治疾患研究所 細胞分子医学分野	転写とエピゲノム制御を基盤としたオメガ 3 脂肪酸の炎症抑制機序の解明
おぐら まさつね 小倉 正恒	脂質代謝 研究室長	国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部	コレステロール排泄機構の破綻と動脈硬化に共通する脂質分子の探索
くにさわ じゅん 國澤 純	プロジェ クチャー リーダー	医薬基盤・健康栄養研究所 ワクチンマテリアルプロジェクト	生活習慣病の改善に寄与する脂質代謝物の同定と作用メカニズムの解明
すずき じゅん 鈴木 淳	教授	京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS)、鈴木グループ	細胞内リン脂質スクランブラーゼとその異常による疾患の解明
せきや もとひろ 関谷 元博	講師	筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科	エネルギー代謝産物センサー分子を軸にした新しい代謝制御システムの解明と医療応用
ただ はやと 多田 隼人	助教	金沢大学附属病院 救急部・循環器内科	家族性高コレステロール血症に対する遺伝子解析スキームの確立
とみ まさとし 登美 斉俊	教授	慶應義塾大学薬学部薬剤学講座	胎盤プロスタグランジントランスポーターが胎盤成熟と陣痛発来制御に果たす役割の解明
はっとり みつはる 服部 光治	教授	名古屋市立大学大学院薬学研究科 病態生化学分野	神経細胞の脂肪酸組成を制御する新たな分子機構と、その疾患との関連解明
ふるやしき ともゆき 古屋敷 智之	教授	神戸大学大学院医学研究科 薬理学分野	コカインにより制御される脳内の新規生理活性脂質の包括的探索と作用機序の解明
やまもと けい 山本 圭	准教授	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 生物資源産業学域	プラズマローゲン型リゾリン脂質代謝系による表皮肥厚性疾患の分子メカニズムの解明
よしはら よしひろ 吉原 良浩	チーム リーダー	理化学研究所 脳科学総合研究センター	性フェロモンとしてのプロスタグランジンの機能解明

平成 29 年度(第 26 回)研究奨励助成対象者 16 名

助成額:1 件につき 100 万円

氏名 (五十音順) (敬称略)	役職	施設名 科名	課題名
あおき ともひろ 青木 友浩	室長	国立循環器病研究センター研究所 分子薬理部	脳動脈瘤進展の相関因子としての病変部での脂肪蓄積と泡沫細胞の同定
いしはら ともあき 石原 知明	研究員	理化学研究所 統合生命医科学研究センター メタボローム研究チーム	皮膚組織の恒常性制御における脂肪酸代謝系の役割の解明
いとう あやか 伊藤 綾香	特任助教	名古屋大学環境医学研究所 分子代謝医学分野	全身性エリテマトーデスにおける免疫細胞内リポクオリティの病態生理学的意義の解明
いのうえ やすみち 井上 靖道	准教授	名古屋市立大学大学院薬学研究科 細胞情報学	SREBP タンパクの安定性を制御する新規脱ユビキチン化酵素の同定と治療への展開
おおた あかね 太田 茜	特別 研究員	甲南大学理工学部 統合ニューロバイオロジー研究所 生体調節学研究室	脳神経系の脂質代謝が身体全体の温度馴化を制御する
こんどう くにお 近藤 邦生	助教	自然科学研究機構 生理学研究所 生体機能調節研究領域 生殖・内分泌系発達機構 研究部門	脂質代謝を制御する視床下部からの神経回路の解析
さいとう こうた 齋藤 康太	助教	東京大学大学院薬学系研究科 生理化学教室	カイロミクロン分泌機構の解析
さとう けい 佐藤 佳	講師	京都大学ウイルス・ 再生医科学研究所 システムウイルス学分野	腸内フローラに起因する脂質代謝の変動とウイルス感染病態の相互関連性の解明
しおみ ひろき 塩見 紘樹	特定病院 助教	京都大学医学部附属病院 循環器内科	次世代シーケンサーを用いた家族性高脂血症関連遺伝子のゲノム解析
しらかわ じゅん 白川 純	助教	横浜市立大学大学院 医学研究科 分子内分泌・糖尿病内科学	細胞外マトリックスタンパク Fbln-5 による皮膚の脂肪酸代謝を介したインスリン感受性制御機構の解明

氏名 (五十音順) (敬称略)	役職	施設名 科名	課題名
たむけお だいん Thumkeo Dean	特定 准教授	京都大学大学院医学研究科 創薬医学講座	皮膚バリア機能異常を特徴とするアトピー 性皮膚炎におけるリゾホスファチジン酸の 役割解明
みやた のん 宮田 暖	助教	九州大学大学院理学研究院 化学部門	新規ミトコンドリア外膜-内膜接触部位を 介したミトコンドリア内リン脂質輸送
みやの かなこ 宮野 加奈子	研究員	国立がん研究センター研究所 がん患者病態生研究分野	血小板活性化因子 PAF pain loop をターゲ ットとした新規鎮痛薬の開発
むらまつ り え こ 村松 里衣子	准教授	大阪大学大学院医学系研究科 分子神経科学	中枢神経系の脂質代謝異常による神経症状 の改善メカニズムの探求
やまぐち ともや 山口 知也	准教授 (PI)	熊本大学大学院先端機構 (併任) 大学院生命科学研究部 がん生物学分野	癌における膜脂質ダイナミクス制御機構の 解明と創薬開発への応用
わか な ゆういち 若菜 裕一	助教	東京薬科大学 分子細胞生物学研究室	オルガネラ膜接触を介するコレステロール 輸送における SCAP の役割